

な か ま

福岡県知的障害者施設保護者会連合会 会報

発行
福岡県知的障害者
施設保護者会連合会
(略称：福施連)

編集
広報委員会

〒812-0854
福岡市博多区東月隈
3-1-4-106
☎/FAX (092) 503-0579

勇気を出して発言する家族会へ

由岐理事長熱く語る

今回の研修会是由岐理事長と同じ家族同士として語り合い、家族会
が取り組むべき問題点を浮き彫りにし、共通認識を深めあいました。

平成31年2月10日、クローバー

プラザにて、平成30年度福施連第
2回研修会が開催されました。全施
連の由岐理事長をお迎えし、『我が
事・丸ごと 地域共生社会』及び
『65歳問題』についてご講話をい
ただきました。

『65歳問題』については、浅田訴
訟と呼ばれる有名な裁判を例に挙げ、
介護保険法第七条は障害者支援法と
介護保険の二重給付を避けることを
目的とした規定であり、介護保険優
先の原則を定めたものではない、
65歳になった途端に障害がなくな
るわけではないため、年齢を契機に
介護保険に移行するという考えはお
かしい、との判決をわかりやすくご

説明をいただきました。

後半の意見交換会では、65歳問
題をはじめ、待機医師の問題、障害



者への公的支援に関する相談窓口に
ついて、保護者会・家族会の運営に
ついてなど様々な課題について活発
な意見交換が行われました。

通所の障害者が65歳になったら、
障害者福祉からの給付はできなく
なるため介護認定(介護保険施設へ
の移行)になります。介護保険利用
者になれば負担金は増え、受けられ
るサービスも減ってしまいます。こ
のような研修会を通して『福祉行政
はいまどこに向かっているのか』
『現在の法律はどのようなになって
いるのか』を正しく理解し、我が家
族の人権をしっかりと守っていける
よう自衛していくことが重要だと
感じさせられたお話でした。

今回の研修会は、全施連由岐理事
長と知的障害者の家族同士としてご
つくばらんな対話形式での意見交換
が行われました。研修会後のアンケ
ートにも「参加してよかった」「ま
た参加したい」という意見が多く寄
せられ、大変有意義な研修会となり
ました。

議論を重ね決めた 会費の値上げ 理事会

平成30年11月4日に第2回理事会、平成31年3月24日に第3回理事会が開催されました。八木会長からの経過報告後、主に会費の増額について討議が行われました。

今年度の福祉連は、赤字予算で、事務所開設のために積み立ててきた資金を切り崩しながら運営しており、

計 報

平成31年3月10日福祉連事務局長高倉和義氏が死去されました。

高倉氏は第二赤坂園保護者会の会長で、福祉連設立以来執行部役員で活躍され、特に全施連福岡大会の折には大会実行委員の一人として、重要な役割を果たされてきました。

又、一人福祉連組織の幹部役員を失い、誠に残念なことです。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

充分な活動ができない状況が続いていることから、平成32年度より会員1名あたりの会費を年額1000円(1月あたり83円)から1500円(1月あたり125円)にするこ

とが慎重な議論の末承認されました。又、第3回理事会では会の名称変更(「福岡県知的障害者施設保護者会連合会」から「福岡県知的障害者施設家族会連合会」へ)についても承認されました。福祉連に参加する各団体の高齢化が進み、保護者会に兄弟や親戚の参加が増えており、現状の「保護者会」という名称が不適切になってきていることに対するものです。

会費の増額及び会の名称変更は、平成31年5月に実施される総会の承認をもって正式な決定になります。会費の増額により、福祉連の運営もより活発に行うことができるよう

になり、私たち家族の人権擁護にさらに寄与することが期待されます。

安心で快適な施設を！ 道しるべの本6月完成

知的障害者を入所施設利用させている家族にとつて、安心・安全・快適な暮らしの毎日をと切に願っていますが現実はまだまだ遠いようです。全施連では、知的障害者が快適に

施設保護者会紹介

ひびき学園

私たちひびき学園B・C棟保護者会は、北九州市若松区の北部、大きな風力発電機の立ち並ぶ姿を一望できる小さな丘の上にあります。

比較的軽度な障害者が入居するA棟、比較的重度な障害者が入居するB棟C棟に分かれ以前はそれぞれ保護者会がありました。B棟とC棟の保護者会が統合しました。

B・C棟保護者会では、毎月第二日曜日の面会日に会合を開き、様々

人生を送る場として「入所施設の在り方No.1」の出版に続いて、2人の大学教授・施設経営者・弁護士・家族代表などの執筆で「入所施設在り方No.2」の本が6月完成予定です。

道標となるこの本は、家族会会員だけでなく行政担当者・各議員・友人知人・親類に売る活動に励み、売上目標を達成したいものです。

な情報共有や各種相談などの意見交換を行っています。

今後ますます高齢化が進んでいくことは明白ですが、福祉連との連携を図りながら、利用者のより良い生活できる学園作りに寄与する活動を行っていききたいと考えています。



意見交換会

福岡県北九州市

平成31年1月31日
(木)北九州市障害福祉課との意見交換を、市の総合保健福祉センターの会議室で行いました。

市からは樋口係長・木下職員が出席され、福祉連から八木会長・奥副会長他6施設から7名が参加しました。

始めに市から平成31年度障害福祉サービス等報酬改定について、障害児の就学前の発達支援を無償化することについての説明がありました。

福祉連からは八木会長が挨拶の後最近では多くの入所施設職員の員数不足があり、処遇改善して利用者の支援の質や量が落ちないように行政の指導が欲しい。介助ロボットの導入が報じられているが、知的障害者には無用で、血の通った生きた人間の理解こそが必要だ。

又、65歳問題では介護保険の特

養老人ホームへ移行を強制する事がないよう施設に指導を求めました。

平成31年2月25日(月)福岡県障がい福祉課との意見交換を、吉塚合同庁舎会議室で行いました。

県からは中島福祉課長・池永参事・蔵本係長が出席され、福祉連から八木会長・奥副会長他7施設12名が参加しました。

県は課長交代後初めての意見交換であるため、八木会長は請願4項目に掲げた福祉連・全福祉連の切実な要望事項を説明し、理解を求めました。

私たちの願い 請願4項目

福祉連は発足当初から県議会や各市・町議会に請願を提出していましたが、平成24年の第8回全国大会大分大会後の理事会で請願活動の必要性を強く主張して全国統一文書請願活動の開始が決定されました。

現在福岡県だけが飯塚市・北九州市・大牟田市の3議会で採択を得て、政府へ届けられています。



請願項目

- 一、知的障害者が生涯を通じ24時間切れ目のない安心して、快適に暮らせる入所施設を新設し、グループホームも充実すること
- 二、必要な支援の制限につながる現行の障害支援区分は廃止し、本人にとって、必要な支援を受けられる仕組みとすること

- 三、安定して継続的な支援が受けられる職員体制にすること
 - 四、国及び地方公共団体は、知的障害者へのサービスを提供する義務を負うこと
- この項目は第1回プロジェクトチーム会議で決定されています。

みんなで歌おう

305歩のマーチ

水前寺清子



- 1 しあわせは 歩いてこない
だから歩いて ゆくんだね
一日一歩 三日で三歩
三歩進んで 二歩さがる
人生は ワン・ツー・パンチ
汗かき ベそかき 歩こうよ
あなたのつけた 足あとにや
きれいな花が 咲くでしょう
腕を振って 足をあげて
ワン・ツー ワン・ツー
休まないで 歩け
ソレワン・ツー ワン・ツー
ワン・ツー ワン・ツー
- 2 しあわせの 扉はせまい
だからしゃがんで 通るのね
百日百歩 千日千歩
ままになる日も ならぬ日も
人生は ワン・ツー・パンチ
あしたのあしたは またあした
あなたはいつも 新しい
希望の虹を だいている
繰り返し
- 3 しあわせの 隣にいても
わからない日も あるんだね
一年三百六十五日
一歩違いで にがしても
人生は ワン・ツー・パンチ
歩みを止めずに 夢みよう
千里の道も 一歩から
はじまることを 信じよう
繰り返し

研修会に参加して

有明ホーム 橋本 久恵

2月10日に全施連由岐理事長をお迎えしての研修会に出席して、あつという間の楽しい勉強会でした。

私の長男は60歳になりますが、市役所から施設を通しての連絡で、65歳になったら後期高齢者の手続きを早めにするようにと封書が届きました。介護保険へ移されそうな問題は一応心配ないと安心していただけ、どうして今頃との思いで質問しました。

私の早とちり勘違いもあったようで、翌日八木会長へ書類をファックスし、会長から南副理事長へと文書は廻って結局私が払う国民保険料や医療費が安くなる手続きとわかりホッとしました。

長男が利用している施設も61名の定員が50名に届かず高齢化しています。施設の敷地も平面でなく、坂や段差があり、交通の便もよくないので送迎バスの設置を願って申

し入れています。まだ実現せず困っています。

又、利用者の高齢化で病院通いの人数も増え、いろいろな検査も奇声をあげたり暴れたりするので、看護師配置も2名では大変なようです。

看取りも願っているのでせめて3名に増員を申し出ていますが、施設側のOKはまだ出ていない現状です。あれやこれやと難問ばかりですが、あきらめず、家族会で力を出し合って前向きに頑張ろうと思っています。

研修会アンケート



平成30年度第2回研修会に参加者の中から41名のアンケートが寄せられました。

- ▼よくわかって参考になった 14名
- ▼まあまあだったが元気が出た 14名
- ▼難しかった 9名

次回研修会のテーマの希望

▼今日の様な研修会をもう一度 20名

▼入所施設在り方提言を 19名

詳しく知りたい

▼虐待防止法を知りたい 4名

▼その他 2名

右のアンケート結果は、これまでの研修会より参加者に好評であったことがわかりました。特に由岐理事長との対談を再度希望が20名もあつたことは、今後の研修会の在り方の参考にすべきとの反省会の結論でした。

第15回全施連宮城大会

福祉の後退を許さない
真の共生社会を目指そう

日時 令和元年10月7日(月)~8日(火)

場所 ホテルメルパルク仙台
(仙台市城野区榴岡5-6-51)

大会参加費 研修会 6000円
情報交換会 7000円

ホテル案内は別途後便

編集後記

親の高齢化で保護者会・家族会が今大変な曲がり角に立っています。設立が古い施設では、毎年2・3人の親がこの世を去ってきようだいが身元責任者になっています。

福施連組織も頼もしい幹部2人が故人となられ、2つの加入組織は役員の担い手がないと脱退されました。しかし利用者の親亡き後も、我が子らの安心安全・快適な施設を求めて福施連・全施連は出発したのですから、泣き言を胸にしまつて兄弟姉妹の家族と絆を深めましょう。

3面に記載した「WORLD MARKET」を私たちへの応援歌として、毎日うたつて元気を出しましょう。

「WORLD MARKET」

だかなまごころを

歩みを止めずに夢見よう

千里の道も一歩から 始まるよ

を信じよう

このすばらしい歌詞に脱帽！

「まごころ」

これもいいなあ。